

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	入居者がテレビを見て過ごす機会が多い、入居者の一部で居室に閉じこもる姿が見られることが問題である。職員が各々レク活動に取り組んでいる。活動にばらつきがあることが課題となる。	天気がよい日は散歩または外気浴を行う。入居者と共に行う季節感を取り入れた壁画作りを行うことを目標とする。時間を持って余すことの改善、予防に努める。	職員へ声掛け、周知を図り散歩、外気浴参加への声掛けを行う。施設行事が年間で決まっているため、季節行事に沿った壁画作りを行う。カレンダー表などを用い、取り組んでほしい活動内容を記載して計画的に行うことを目標達成の具体的な取り組み内容とする。	12ヶ月
2	49	2015年おやつ作りを目標として掲げ、継続実践には繋がったが、職員のみで買い物に出かける機会も多く見られたことが問題である。入居者と共に行き物へ出かける機会を設けることが課題となる。	月1回のおやつ作り継続。入居者と共に行うことを目標とする。達成率の低かった、買い物も入居者と共に行うことを目標とする。	翌月の勤務シフト表に、おやつ作りを行う日を記載することを具体的な取り組みとする。勤務上、立案者が買い物など入居者と共に行うことが困難な場合は、他職員へ依頼行う。他職員の協力も求め計画的に行うことを目標達成のための手段とする。	12ヶ月
3	38	「元気な笑顔でその人らしく普通に暮らす幸せ」に合わせ、具体的なケアに浸透させていけるように過ごすように工夫する。	自分本意ですごしていけるようにする。	朝の水分補給後、今日の活動を皆と話し合い、本人のやりたい事を支援していく。	12ヶ月
4	48	日常業者の食材を利用している為入居者の好む物を献立に立てていないため、食の楽しみごとを取り入れていくようにする。	入居者と一緒に献立を決め楽しみごと役割を支援していくようにする。	月1回昼食の献立を話し合い、買出しの食材を決め、買い物に出かける。専用品紙を作成、記入し情報の共有をしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。